

全に不安を感じている。本市の米、食肉、魚介類、野菜などの食品の放射性物質への対応は。

答 本市でも、放射性セシウムに汚染された稲わらを飼料とした牛の肉が販売され、他の自治体や販売業者などからの情報をもとに調査を行った。今後も、関係機関と連携し、流通段階での拡散防止と健康被害の未然防止に努める。

中学生の度重なる逮捕への対応は

問 本市では、今年度、既に14件16名の中学生が逮捕されている。①保護者の責任のなさが問題行為を助長しているとも言われている。保護者への積極的な指導に取り組んでは。②悪質な行為については個別指導措置を取るなど、厳しい対応が必要では。

答 ①暴力等の問題行動を未然に防ぐには、学校と家庭の役割を明確にし、児童生徒に規範意識を育てる取り組みが必要で、家庭生活の約束を定めたりフレッツを作り、学校と家庭が連携して取り

組んでいる。②安心して学べる環境を確保するため、器物損壊など授業妨害を行った場合は別室で指導する方針を教育委員会が示し、中学校区で統一した指導方法等の基準を作成することとしている。

◆関連質問

- ・教職員の子どもたちと向き合う時間の確保策（市民連合）
- ・中学生の逮捕問題について（日本共産党）

水曜会



高田 健司 議員

暴力団排除条例制定への取り組みは

問 県では4月1日から暴力団排除条例が施行され、今後、県内の8市町においても条例化が予定されている。本市の取り組み状況は。

答 本市では、「福山市建設工事暴力団対策措置要綱」「福山市物品調達等の契約に係る暴力団等

排除措置要綱」などを制定し、暴力団排除の措置を講じてきた。条例の制定については、社会から暴力団を排除するという認識を浸透させるため、市の事務や事業から暴力団を排除する措置などを規定し、本年度中の制定に向けて取り組む。

子ども議会の成果と課題は

問 子ども議会は今年で3回目を迎える。①その目的と意義これまでの成果は。②参加した児童生徒が今後どのような活動をするかを期待しているか。



市議会本会議場で開催された子ども議会

答 ①次代を担う子どもたちが市政に関する質問や提案を通して社会や地域、学校生活などへの関心を高め、市民としての自覚を促すことを目的としている。子ども議会での提案により市政に反映したものととして、福山地産地消の日の制定などがあり、今後も提案を積極的に取り入れる。また、参加した子どもたちの多くから前向きな感想が寄せられ、当初の目的どおりの成果があった。②この経験と自信を、今後の学校生活の中で大いに発揮し、将来は「ふるさと福山」のリーダーをめざして活躍することを期待する。

自転車レーン整備計画の進捗状況は

問 福山駅箕島線の一部で車道に自転車レーンを設け社会実験を実施した。整備の意義、目的と実験の結果、今後の予定は。

答 今後の道づくりは、過度な自動車依存から転換を図り、歩行者と自転車により安全で安心して快適に歩行や走行できる空間を整備する。実験では、歩道を走行す